

2日目 [2月16日、8:30~12:30]

第二部 鉄代謝分子機構研究の新展開———— 8:30—9:45

司会 新津 洋司郎 (札幌医科大学 教授)

岸 文 雄 (川崎医科大学 教授)

1 Membrane Iron Transporter 研究の進歩 (35分)

Hiromi Gunshin (University of Massachusetts 准教授)

2 ヘプシジンと腎性貧血、最新の知見 (20分)

友杉 直久 (金沢医科大学 教授)

3 Lipocalin, mammalian siderophore と鉄代謝 (20分)

森 潔 (京都大学 講師)

第三部 骨髄不全と鉄過剰———— 9:45—11:05

司会 澤田 賢一 (秋田大学 教授)

浦部 晶夫 (NTT 関東病院 予防医学センター長)

1 赤血球造血と鉄代謝異常 (20分)

高後 裕 (旭川医科大学 教授)

2 ミトコンドリアヘム鉄代謝異常と鉄芽球性貧血 (20分)

張替 秀郎 (東北大学 教授)

3 我が国における骨髄不全と輸血後鉄過剰 (20分)

中尾 眞二 (金沢大学 教授)

4 鉄キレート療法の進歩と適正使用ガイドライン (20分)

小澤 敬也 (自治医科大学 教授)

休憩 (コーヒーブレイク)———— 11:05—11:25

第四部 Biolron 研究の将来展望————11:25—12:25

司会 岡田 茂 (岡山大学 教授)

西田 雄三 (山形大学 教授)

1 肝炎・肝がんと鉄制御 (20分)

加藤 淳二 (札幌医科大学 准教授)

2 胸膜中皮腫とアスベスト・鉄発癌 (20分)

豊國 伸哉 (京都大学 准教授)

3 神経変性疾患と鉄代謝 (20分)

宮嶋 裕明 (浜松医科大学 准教授)

閉会————12:25—12:30

BioIron2007 京都フォローアップシンポジウム 代表世話人 高後 裕

市民公開講座————14:00—16:30

『鉄と上手に付き合って健康に』

講演 1

「見逃されてきた鉄欠乏性貧血—診断と治療」

司会 齊藤 宏 (河村病院 顧問)

演者 内田 立身 (香川県赤十字血液センター 所長)

講演 2

「鉄と生活習慣病—上手に付き合って健康に」

司会 林 久男 (愛知学院大学 教授)

演者 岡田 茂 (岡山大学 教授)

講演 3

「難治性貧血と鉄過剰—新しい治療法」

司会 溝口 秀昭 (埼玉県赤十字血液センター 所長)

演者 大屋敷一馬 (東京医科大学 教授)